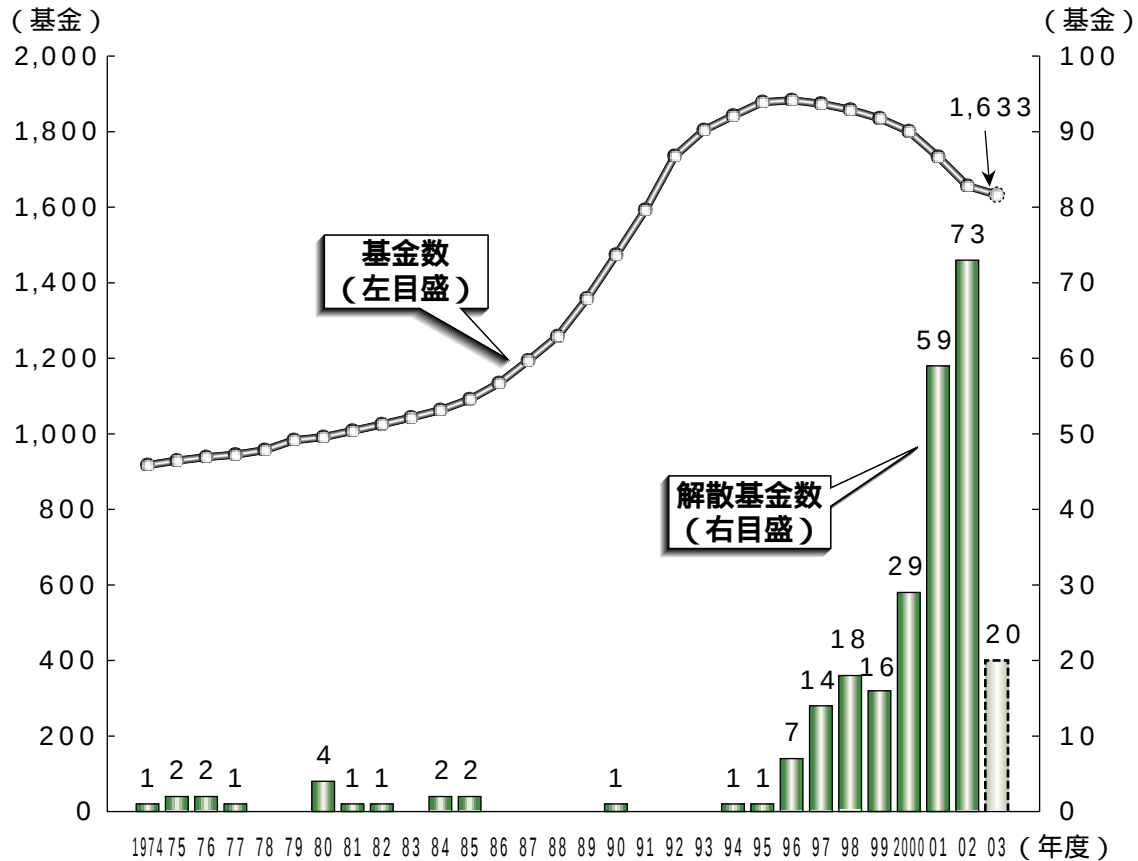


## 厚生年金基金数と解散数



(注) 2003年度は8月1日現在。前年同期の解散数は10基金。

(資料) 厚生年金基金連合会

厚生年金基金(以下、基金)は、厚生年金保険(会社員が加入する公的年金)の一部を国に代わって給付する代行部分に企業独自の上乗せ給付を行う企業年金である。2003年8月1日現在全国に1,633基金あり、加入者数は1,035万人である。

基金は、予め将来の給付額が決まってい、それに必要な掛金を積み立てて運用する確定給付型である。近年、運用環境の低迷から、予定した利回りが確保できずに積立不足が生じている基金が多い。

そこで、各社は掛金の追加拠出や、給付

水準の引き下げなどの対策をとっているが、基金を解散する例も多い。90年代後半以降、解散基金数は急増しており、昨年度は73基金が解散した。今年度は8月1日現在で20基金が解散したが、これは昨年同時期の2倍のペースである。

また、2002年4月からは基金の代行部分を国へ返上し、上乗せ部分だけで企業年金を継続するいわゆる代行返上も可能になった。これまでに基金全体の約4割が返上の認可を得ている。

(堀江 奈保子 TEL.03-3201-0517)